

鶴巻温泉駅南口周辺地区

# まちづくり基本構想

平成15年8月

鶴巻温泉駅南口まちづくり協議会

鶴巻音頭 2 0 0 1

- 1 . 弘法（こうぼう） 吾妻（あずま）が里の山  
緑あふれる 鳥が 啼（な）く  
湧（わ）き水きれいで 静かに流れる  
蛍（ほたる）も たくさん光ってる
  
- 2 . あじさいきれいな 散歩道  
カワセミ仲良く 遊んでる  
稲が風に そよそよゆれる  
暮らし 守る 赤水門
  
- 3 . トトロの楠（くすのき） 和田氏の陣屋  
カルシウム入り 鶴巻温泉  
落幡神社に 延命地蔵  
大げやきは 6 0 0 才  
文化の香りが あふれてる

鶴巻小学校の児童が、運動会の演技種目として、歌（詩）と踊りを考え完成させたのが「鶴巻音頭」です。

## 目 次

1 . 鶴巻温泉駅南口周辺地区まちづくり基本構想について .....	1
2 . まちの現況と課題 .....	2
3 . まちづくりの構想 .....	4
3-1 . 構想の体系 .....	4
3-2 . まちの将来像 .....	5
3-3 . まちづくりの目標 .....	5
(1) 安全・快適で人にやさしいまち .....	5
(2) みどりが豊かで歴史を感じるまち .....	6
(3) 賑わいと活力のあるまち .....	6
3-4 . 実現に向けた方針、取り組み .....	7
(1) 便利で安全快適な駅前広場づくり .....	7
(2) 地域固有の歴史・文化を活かしたまちづくり .....	9
(3) 賑わいの拠点の形成 .....	9
(4) 安全・快適な道路整備 .....	12
(5) 県道沿道の街並みづくり .....	12
4 . 今後のまちづくりの進め方について .....	18
5 . 参考資料 .....	19
5-1 . 鶴巻温泉駅南口アンケート調査 .....	19
5-1 . 鶴巻温泉駅南口アンケート調査 .....	22
5-3 . 広域的な道路網 .....	24

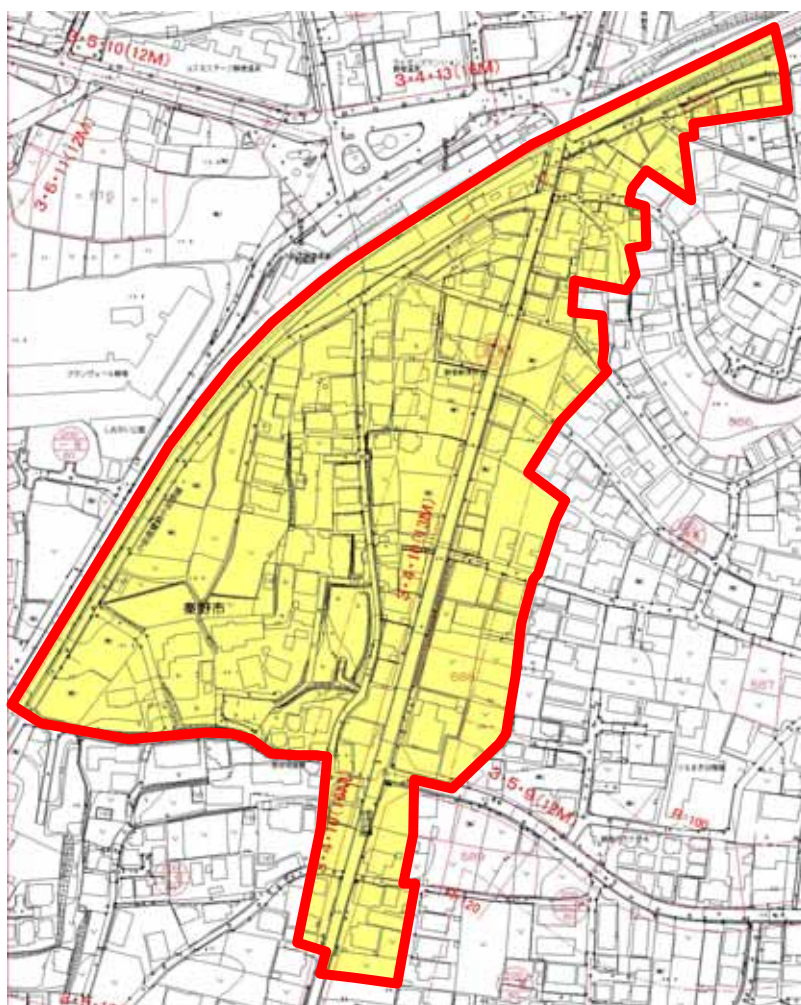
# 1 . 鶴巻温泉駅南口周辺地区まちづくり基本構想について

鶴巻温泉駅南口周辺地区は、小田急鶴巻温泉駅南側の緩やかな坂道を中心とした商店街と落ち着いた住宅街で構成されています。地区周辺では、鶴巻温泉春まつりや延命地蔵市が開かれ、またアジサイ散歩道が整備されるなど、賑わいと潤いのあるまちづくりに向けた取り組みが行われてきました。

こうした中で、県道の歩道整備や駅前広場の整備が地域の課題として持ち上がり、これに合わせたまちづくりを検討するため、平成12年11月に自治会や商店会などが中心になって鶴巻温泉駅南口まちづくり協議会を発足させました。発足後、協議会での討議やアンケート、市民集会（説明会）による市民の意見を基に、平成14年3月に「鶴巻温泉駅南口周辺地区まちづくり基本構想骨子」を作成し、市長への報告を行いました。

平成14年度は、この「まちづくり基本構想骨子」を基に協議会でさらに検討を加え、先進事例の見学会、にぎわいの拠点づくりに関する関係者ヒアリング等を実施し、「鶴巻温泉駅南口周辺地区まちづくり基本構想」をまとめました。

構想区域（面積：約6.6ha）



## 2. まちの現況と課題

鶴巻温泉駅南口周辺地区については、地元へのアンケート調査結果や協議会からの意見などを整理すると、歩行者や自動車交通の安全性に関するものをはじめとして、以下のようなまちづくりにおける現状と課題があります。

### 県道に関わる現況と課題

- 県道上粕屋南金目線は、駅の南北を結ぶ市民のための重要な道路ですが、一方で、地域に関係のない通過性の交通も多く流入しています。  
通過するだけの交通は、地区東側の都市計画道路が整備されれば減少するものと考えられますが、整備時期はかなり先の予定であり、当分の間は通過性の交通も入ってきます。  
このため、安全確保のためには県道の整備に加えて交通規制も含めた検討が必要とされます。
- 県道上粕屋南金目線には歩道がなく、歩くのに非常に危険な状況です。さらに県道の踏み切り部には、駅の南北を行き来する人の流れと、駅の乗降客とが集中し、またこれに自動車交通が加わるため、危険な状況となっています。県道の歩道整備については、現在進行中であり数年後には歩道は整備されますが、踏み切り部分の整備は見通しが立っていません。

### 駅前広場の整備に関わる現況と課題

- 鶴巻温泉駅南口に面積約2,300㎡の駅前広場が都市計画決定されています。(昭和58年8月26日 県告示697号)
- 駅前広場の整備に関わる課題としては、次のような課題が挙げられます。
  - ア．県道への自動車の出入りが増えるため、現状よりも危険になる恐れがあります。
  - イ．線路南側に沿った現在の市道は、駅前広場ができて県道に出られなくなると非常に不便になります。
  - ウ．駅前広場の面積が狭いため、せっかく整備してもゆとりが無く使い勝手が悪いのではないかと考えられます。
  - エ．駅前広場に接する宅地は、地形上、駅前広場との間に高低差ができ、直接駅前広場への出入りができなくなる可能性があります。
  - オ．駅の改札口が上り方向、下り方向の2カ所にあり、駅利用者で踏切を渡る人が多いため、踏み切りが混雑するようになります。
- 駅前広場の面積や形状は、都市計画で既に決められていますが、駅前広場内の細かな設計や広場周辺の土地利用については具体的には決められていません。駅前広場の形状を考えるとときには、秦野駅のような橋上駅になるのかどうかなど、駅舎整備のあり方を検討するため、これらの前提条件を駅舎のあり方を含めて検討することが必要です。

< 都市計画決定されている鶴巻温泉駅南口駅前広場の範囲 >



#### 南口周辺地区の賑わいや居住環境等に関わる現況と課題

- 活気や賑わいを創出するため、駅前や県道沿道については、県道や駅前広場の整備を前提としつつ、連続性を持った商店街の活性化と憩いや潤いの空間づくりが必要です。
- また、延命地蔵などの地域の歴史的資源を有しているにもかかわらず、まちづくりの中で活かされていないことも課題として挙げられます。
- 県道西側の市道は、みどりが多く、ほっとできる空間となっています。
- 居住環境としては、公園など子どもの遊び場や地域の人が集まれる空間がないことが課題となっています。

#### 災害に対するまちの安全に関わる現況と課題

- 幅員の狭い道路が多く地震などの災害時に避難が困難になるなどの恐れがあります。今後は様々な災害の発生を想定して、安心して暮らせるまちづくりが必要です。

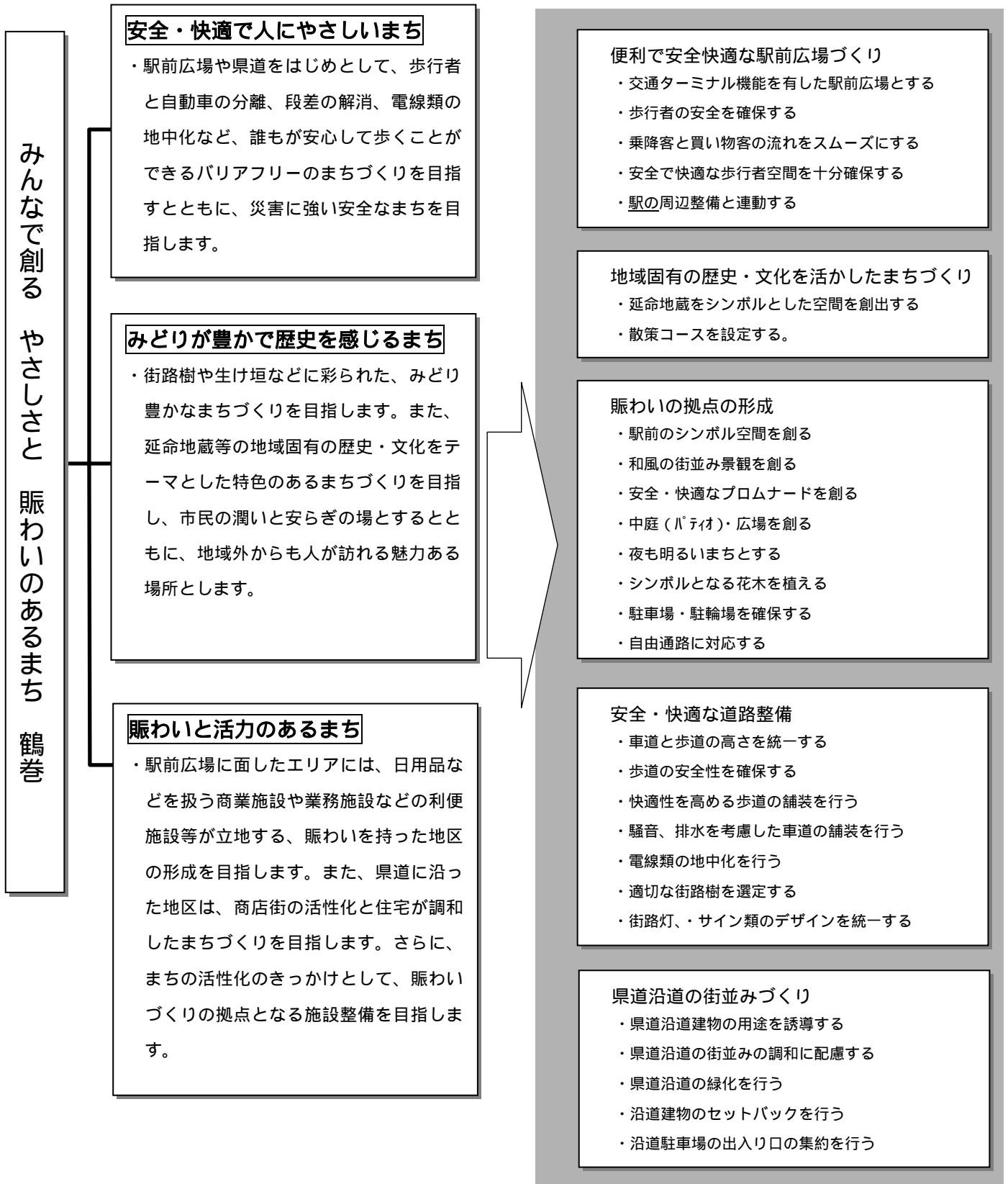
### 3. まちづくりの構想

#### 3-1. 構想の体系

将来像

まちづくりの目標

実現化に向けた方針、取り組み



### 3-2 . まちの将来像

鶴巻温泉駅南口周辺地区まちづくりの市民共通の目標として、まちの将来像を定めます。この将来像の実現を目指して今後のまちづくりを進めていきます。

まちの将来像

**みんなで創る  
やさしさと賑わいのあるまち 鶴巻**

鶴巻はみどりが多く、そして歴史と坂に特色づけられるまちです。このような地域の特色を生かし、市民が安心して住み続けられる安全・快適そして活力のあるまちづくりを進めます。

### 3-3 . まちづくりの目標

鶴巻温泉駅南口周辺地区のまちづくりを進めるにあたっての基本的なまちづくりの方針を示します。

#### (1) 安全・快適で人にやさしいまち

駅前広場や県道をはじめとして、歩行者と自動車の分離、段差の解消、電線類の地中化など、誰もが安心して歩くことができるバリアフリーのまちづくりを目指すとともに、災害に強い安全なまちを目指します。

○アンケート調査によれば、県道の危険性が最大の問題として挙げられていますが、県道は歩道が整備され、安全に歩くことのできる道路となります。そして県道は、駅の南北市街地の連絡、さらには駅へ行くための道路として地区の最も重要な道路ですが、問題としては踏み切りの狭さによる危険と不便が解消しないことであり、これらの解消を目指します。



## (2) みどりが豊かで歴史を感じるまち

街路樹や生け垣などに彩られた、みどり豊かなまちづくりを目指します。また、延命地蔵等の地域固有の歴史・文化をテーマとした特色のあるまちづくりを目指し、市民の潤いと安らぎの場とするとともに、地域外からも人が訪れる魅力ある場所とします。

市民に親しまれている駅前桜並木は、駅前広場の整備区域と一部重なるため、保全が難しくなっています。そこで駅前広場内の街路樹としての活用や、別の場所への移植により保全を図ることを目指します。

区域西側の地区は(鶴巻南一丁目)は落ち着いた環境の住宅地とします。そして、緑化や散策路の整備などにより地域の交流を深めることができるまちづくりを目指します。

また、延命地蔵につながる市道は駅へのアクセス路あるいは散策路の一部としてゆとりのある和風の街並み形成を目指します。県道沿道についても歩道整備と一体となった電線類の地中化や修景された歩道整備にあわせ和風をイメージした街並みを目指します。

和風・・南口周辺地区は落ち着いた雰囲気のある街並みが望ましいと考え、“和風”のイメージとしました。

## (3) 賑わいと活力のあるまち

駅周辺は、日用品などを扱う商業施設や業務施設などの便利施設等が立地する、賑わいを持った地区の形成を目指します。

特に駅前広場に面したエリアには、まちの活性化のきっかけとして、賑わいづくりの拠点となる施設整備を目指します。また、県道に沿った地区は、商店街の活性化と住宅が調和したまちづくりを目指します。

○賑わいの拠点づくりや駅前広場の整備に合わせて商業地(近隣商業地域)を適正に配置します。そのためには、駅前広場の整備により敷地と駅前広場の間に高低差が生じる可能性があるため、駅前広場と一体となった整備についても検討が必要と考えられます。

○県道の沿道は、県道拡幅にあわせ、各個別店舗の建替え等により和風をイメージした商店街づくりを目指します。

○駅前広場に面したエリアには、駅前のシンボルとなる魅力ある空間の整備を目指します。

## 3 - 4 . 実現に向けた方針、取り組み

### ( 1 ) 便利で安全快適な駅前広場づくり

#### 計画の考え方

##### 駅前広場の整備

駅前広場の整備については、鶴巻温泉駅の駅舎が橋上駅舎となる場合も想定しています。しかし小田急線の連続立体交差化の可能性など小田急電鉄との協議が必要とされており、橋上駅舎や鉄道の連続立体化等の条件が検討途中であるため、具体の提案を行うにはいたっていません。

このような事情を踏まえつつ、地元の要望として以下のような基本的な考え方を整理しました。

南口広場の面積は都市計画告示当時の2,300㎡ですが、乗降客数も微増しており交通広場や歩行者広場など、土地利用の検討や、また傾斜地形を利用した立体化などを検討していく必要があります。

##### 駅前広場出入箇所及び県道周辺の交通対策

駅前広場の出入箇所や踏み切りに近い県道部分については、人や自動車交通が錯綜しないように検討します。

##### 駅前広場へのバスの乗り入れ

現在、駅前広場にはバスの乗り入れが前提とされていますが、地形や駅前広場の面積などから、バスの乗り入れについては今後も検討が必要です。

しかしバスの発着が南口で行われないことになると、多くの市民が不便を感じるとともに、駅南口の利用者が減少し、地域が衰退していくことが懸念されます。このため、駅前広場の規模の問題や構造の問題と合わせて、バスの発着について検討が必要です。

## 計画のコンセプト

交通ターミナル機能を有した駅前広場とする。

現況のバス路線や将来の商業立地を鑑みて、相応の交通広場が必要です。

歩行者の安全を確保する。

乗降客や買物客など多くの来街者が集まり、徹底した歩車分離を図る必要があります。

乗降客と買物客の流れをスムーズにする。

南北広場の一体化や商業地への人々の誘導など適切な動線配置が必要です。

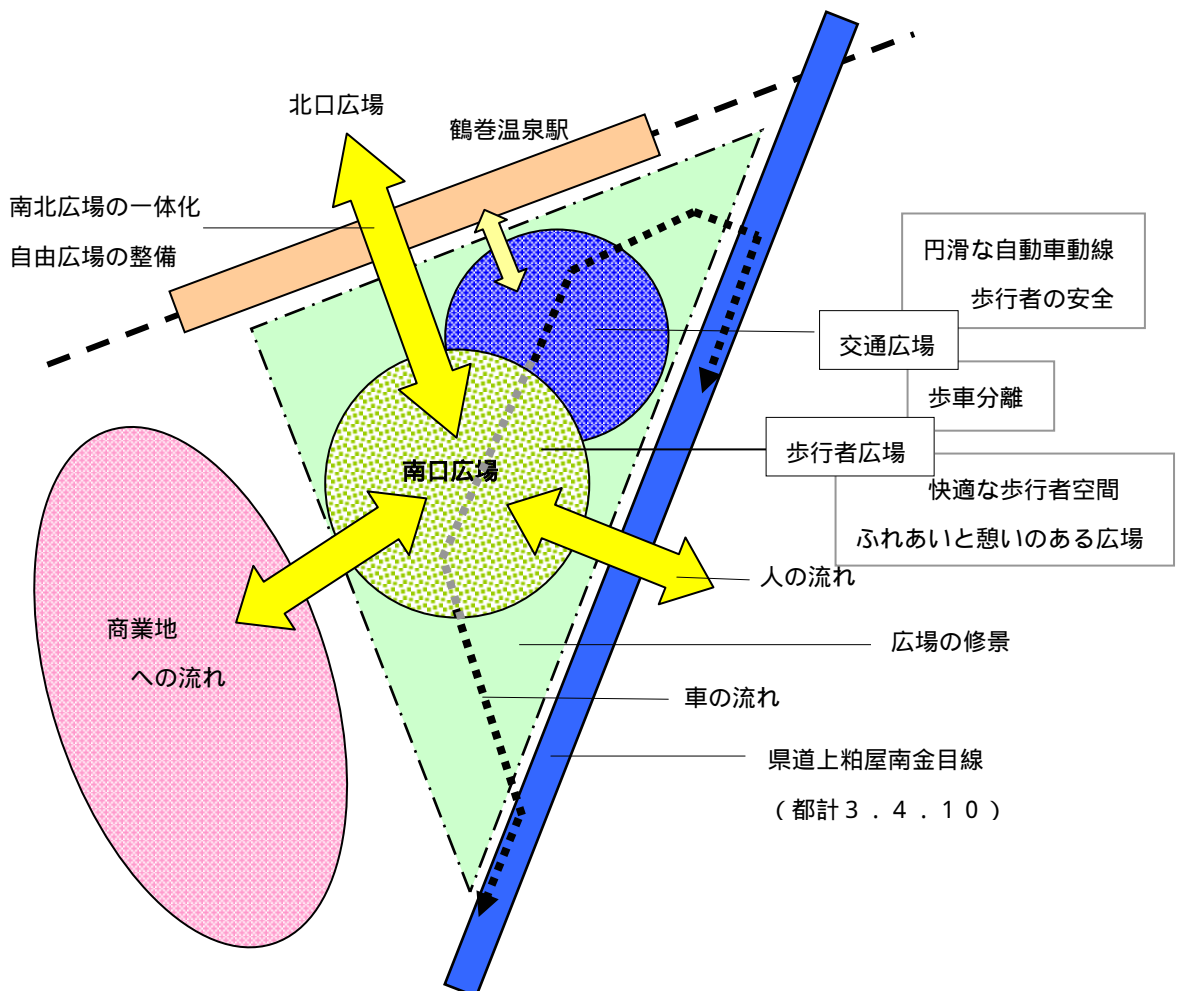
安全で快適な歩行者空間を十分確保する。

駅前広場は同時に買物や人々の交流の場であり、緑や憩いのある楽しい空間が必要です。

駅の周辺整備と連動する。

駅前広場はまちづくりの総合的な事業として色々な整備事業との連繋が必要です。

南口駅前広場のゾーニング・イメージは以下のとおりとします。



## (2) 地域固有の歴史・文化を活かしたまちづくり

### 計画の考え方

#### 延命地蔵を活かしたまちづくり

延命地蔵を活かしたまちづくりを進めます。

#### 駅を活かしたまちづくり

市民生活の拠点となる駅を活かし、駅前広場に面する箇所には、立地条件の良さを活かし商業施設の立地を目指し、南口地区のシンボルとなる賑わいの拠点を形成するとともに、市民生活の拠点として整備していくことが望ましいと考えられます。

### 計画のコンセプト

延命地蔵をシンボルとした空間を創出する。

延命地蔵周辺に広場を整備し、毎月開催される延命地蔵祭りや、近郊で取れる農産物を利用した朝市などの各種イベントに使える空間を創出することを目指します。



散策コースを設置する。

鶴巻温泉駅と延命地蔵等をネットワークする散策コースの設置を提案します。特に県道西側の市道は、延命地蔵への参道的な役割を持った、落ち着いた道路空間とすることが望ましいと考えられます。

## (3) 賑わいの拠点の形成

### 計画の考え方

駅前広場に面する箇所には、立地条件の良さを活かし商業施設の立地を目指し、南口周辺地区のシンボルとなる賑わいの拠点を形成し、市民生活の向上と、まちの活性化を図ることが望ましいと考えられます。

### 計画のコンセプト

拠点の形成においては、地元市民の自発的な発意が基本となって実現していくものと考えられます。そこで、今後の自発的なまちづくり活動の進展に際し、その指針となるべく、拠点づくりの基本となる考え方を計画のコンセプトとして整理します。

## 拠点形成のコンセプト

項目	内容
<p>駅前シンボル空間を創る</p>	<p>鶴巻温泉駅前の核として、南口地区のシンボルとなる魅力ある空間の整備を進めます。</p> <p>商業を始め、文化、交流、福祉等の都市機能を複合し、十分な生活拠点機能を発揮します。</p> <p>商業施設の配置にあたっては、業種のバランスも考慮します。</p> <p>地権者の必要に応じて、住宅の併設を考慮します。</p> 
<p>和風の街並み景観を創る</p>	<p>拠点施設は和風のデザインをイメージし、街並みの景観づくりを先導します。</p> <p>建物の高さは街並みと調和の取れた高さとし、駅前広場やプロムナードに面する店舗部分などは比較的低層にし、開放的な空間となるよう配慮します。</p> 
<p>安全・快適なプロムナードを創る</p>	<p>拠点施設の敷地内には、県道の車の喧騒を離れ、歩行者にとって安全で快適なプロムナードを確保します。</p> <p>プロムナードに面して店舗を連続して立地させ、鶴巻温泉駅への通り抜け通路とします。</p> 
<p>中庭（パティオ）・広場を創る</p>	<p>地域住民の憩いの場となるとともに、住民と来街客・観光客との触れ合いの場となる中庭もしくは広場を整備します。</p> <p>中庭・広場を活用して様々なイベントを行うことで住民や来街客に楽しさを提供します。</p> 

## 拠点形成のコンセプト

項目	内容
<p>夜も明るいまちとする</p>	<p>駅前広場、駅付近の県道沿道及び拠点施設内のプロムナードは、通勤者が帰宅した時にほっとできる、夜も明るいまちとします。</p> <p>店舗の閉店時間を延長することやウィンドウショッピングができるよう考慮します。</p> 
<p>シンボルとなる花木を植える</p>	<p>鶴巻温泉駅南口地区のシンボルとなる樹木や草花を選定・植栽することで季節感あふれるまちとします。</p> <p>拠点施設の敷地内にシンボル樹木や花を植え、地域の緑化を先導します。</p> 
<p>駐車場・駐輪場を確保する</p>	<p>利便性の高い施設とするため敷地内もしくは近接地に駐車場や駐輪場を確保します。</p> <p>駐車場は街並みとの調和に配慮し、街並みの分断を最小限にするため、駐車場敷地の緑化に努めます。</p> 
<p>自由通路に対応する</p>	<p>開発範囲が一定規模を超える拠点施設を整備する場合、駅と拠点とを結ぶ自由通路の整備を考慮し、駅利用者の利便を図るものとします。</p> 



## (4) 安全・快適な道路整備

### 計画の考え方

県道の整備は、「安全・快適で人にやさしいまち」と「賑わいと活力のあるまち」とを一体のものとして、その実現を目指します。

#### 歩行者の安全

県道は地域住民の主要な生活道路として、安心して歩くことができる道路とする必要があります。また、周辺の公共施設（おおね公園、サンライフ秦野など）の利用者の方々のためにも、安心して歩ける歩道の整備が必要であるとともに、県道を横断する歩行者の安全性も確保する必要があります。

#### 南口シンボルロードの形成

県道は“賑わいと活力のある”南口のシンボルロードとして、景観に配慮した整備を行うべきです。

### 計画のコンセプト

#### 県道の整備

バリアフリーに配慮し、南口のシンボルロードとして整備を行うため、その具体的な考え方を示します。(13頁～14頁)

#### その他の道路

県道へアクセスする直行道路の整備を提案します。この道路は県道整備に合わせた一体的整備により、住民の利便性や安全性の向上を図ります。

## (5) 県道沿道の街並みづくり

### 計画の考え方

県道沿道の街並みは、「安全・快適で人にやさしいまち」と「賑わいと活力のあるまち」とを一体のものとして、その実現を目指します。

### 計画のコンセプト

県道沿道を南口のシンボルロードとして、和風の街並みをイメージした整備を行うため、その具体的な考え方を計画のコンセプトとして整理します。(15頁～16頁)

## 計画のコンセプト（県道の整備）

### A-1 車道と歩道の高さを統一する。

車道と歩道の交差部や駐車場の出入り口の切り下げが生じて歩きづらい歩道とならないよう、車道と歩道の高さを揃え、快適な歩道とします。

雨水が宅地に流れ込まないよう、適切な排水処理を行います。

### A-2 歩道の安全性の確保する。

車道と歩道の間は、ブロックを設置するとともに、要所要所に車止めを設置し、車が歩道に乗り上げないように工夫します。

車止めのデザインについても十分配慮したものとしします。

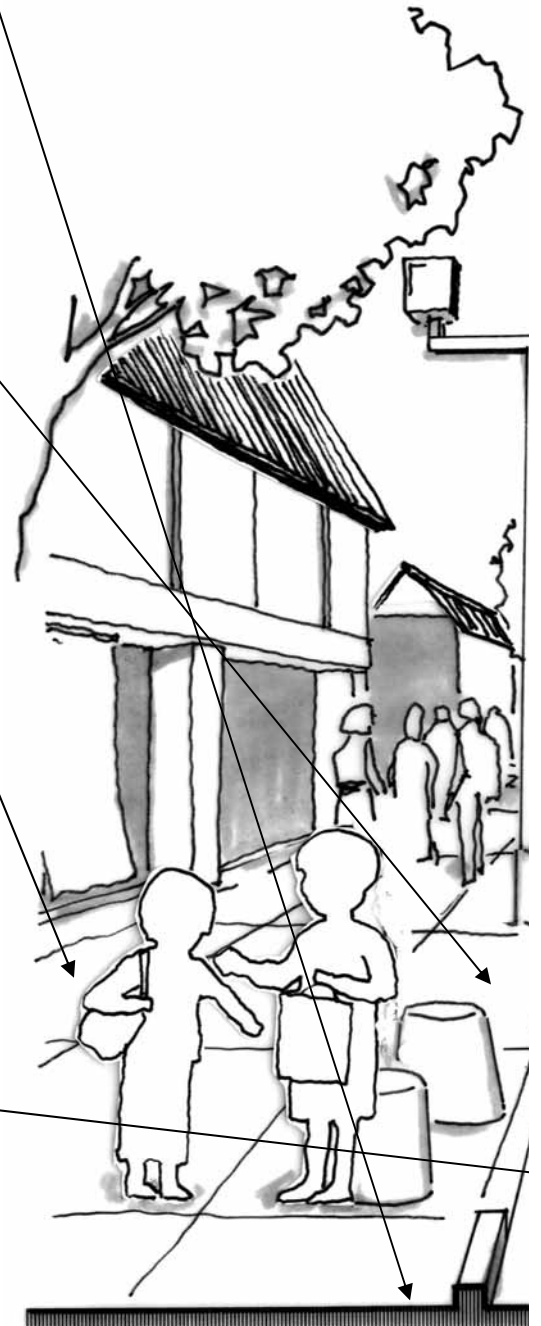
### A-3 快適性を高める歩道の舗装を行う。

歩道の快適性を高めるため、インターロッキング舗装、もしくは同等以上の舗装を行うものとします。

舗装に当たっては、凸凹が生じつまづくことのないよう配慮するものとします。

### A-4 騒音や排水を考慮した車道の舗装を行う。

車道は、車の走行音を低減することや雨水の浸透などに配慮した舗装とします。





## 計画のコンセプト（県道の整備）

### A-5 電線類の地中化を行う。

県道の安全性の確保と良好な景観形成を図るため、電線類の地中化を行います。

地中化に伴い歩道上に設置する変圧器については、景観上の障害物とならないよう、変圧器の表面を案内板やアートなどの装飾版として活用し、まちの楽しさの演出を行います。

### A-6 適切な街路樹を選定する。

車の見通しを考慮、横に広がる樹種でなく縦に伸びる、余り大きくなりすぎない、花の咲く街路樹を選定するものとします。

また、歩行者の邪魔にならないようツリーサークルの形状に配慮します。

歩道の歩行スペースを十分確保するため、植樹帯は設けないものとします。

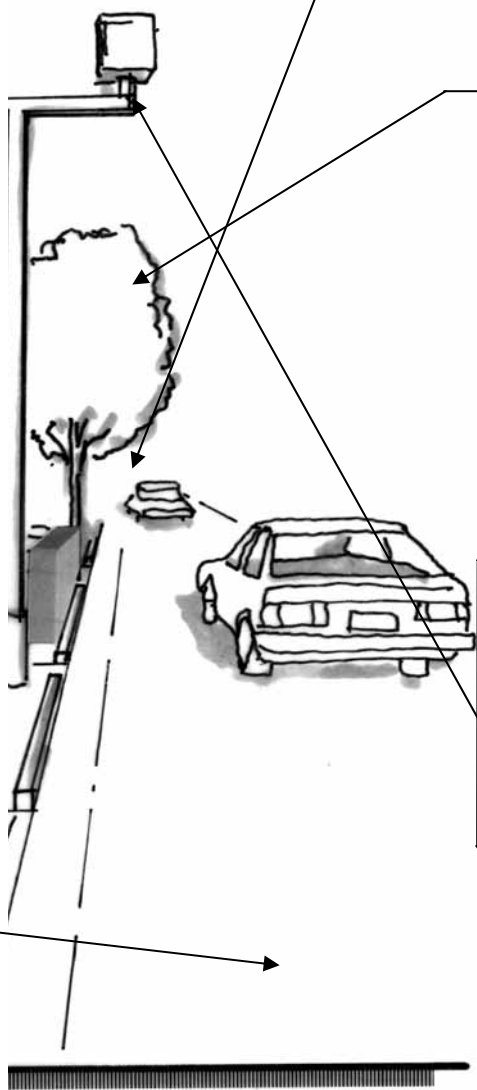
### A-7 街路灯のデザインを統一する。

街路灯のデザインは、必ずしも和風に固執したものやごてごてしたものでなく、風格あるデザインに配慮するものとします。

### A-8 サイン類のデザインを統一する。

標識、案内板、信号等のサイン類については、街路灯を含め、全体として統一感あるデザインとなるよう配慮します。

また、鶴巻温泉をイメージさせるモニュメントの設置についても考慮するものとします。



## 計画のコンセプト（県道沿道の街並み整備）

### B-1 県道沿道建物の用途を誘導する。

県道沿道のうち、鶴巻温泉駅から延命地蔵に至る県道沿道は、既存の住宅を除き、1階部分をできる限り店舗として活用するように努めます。

### B-2 県道沿道の街並みの調和に配慮する。

県道沿道の良好な街並みの形成に向け、建物建設等に当たっては、どぎつい、けばけばしい色や形を避けるなど街並みの調和に配慮します。

店舗の正面（ファサード）部分については、「和」のイメージを生かした整備を目指します。



木製の看板、のれん、縁台、植栽などを使ったファサード整備を行うことで、県道沿道において一定の統一感ある景観形成に努めます。



### B-3 県道沿道の緑化を行う。

県道の快適さの向上とつるおいのある景観形成に向け、敷地前面の緑化に努めます。

店舗前面や駐車場にシンボルツリーを植えたり花壇を設けるなど緑化を進めます。

住宅の場合も、道路と敷地の境界部分を生垣にしたり、植樹や花壇を設けるなど、敷地前面の緑化に努めます。

## 計画のコンセプト（県道沿道の街並み整備）

### B-4 沿道建物のセットバックを行う。

県道沿道の建物は、少しでもセットバックして建てることにより、よりゆとりある歩道の確保に努めるものとします。

店舗の場合、店頭で駐車場を確保するよう努め、その一部を緑化することによっておおいのある景観とするよう努めます。

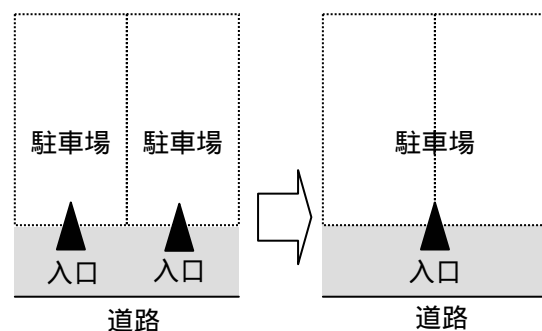
また、店舗のセットバック部分を生かして、各店舗の雰囲気づくりや個性を活かした宣伝を行うほか、ベンチや縁台などを置いて来街者が休めるようにするなど、各店舗ごとの工夫に努めます。

住宅の場合、敷地前面を少しでもセットバックし、生垣や植樹するなどの緑化スペースを確保するよう努めます。

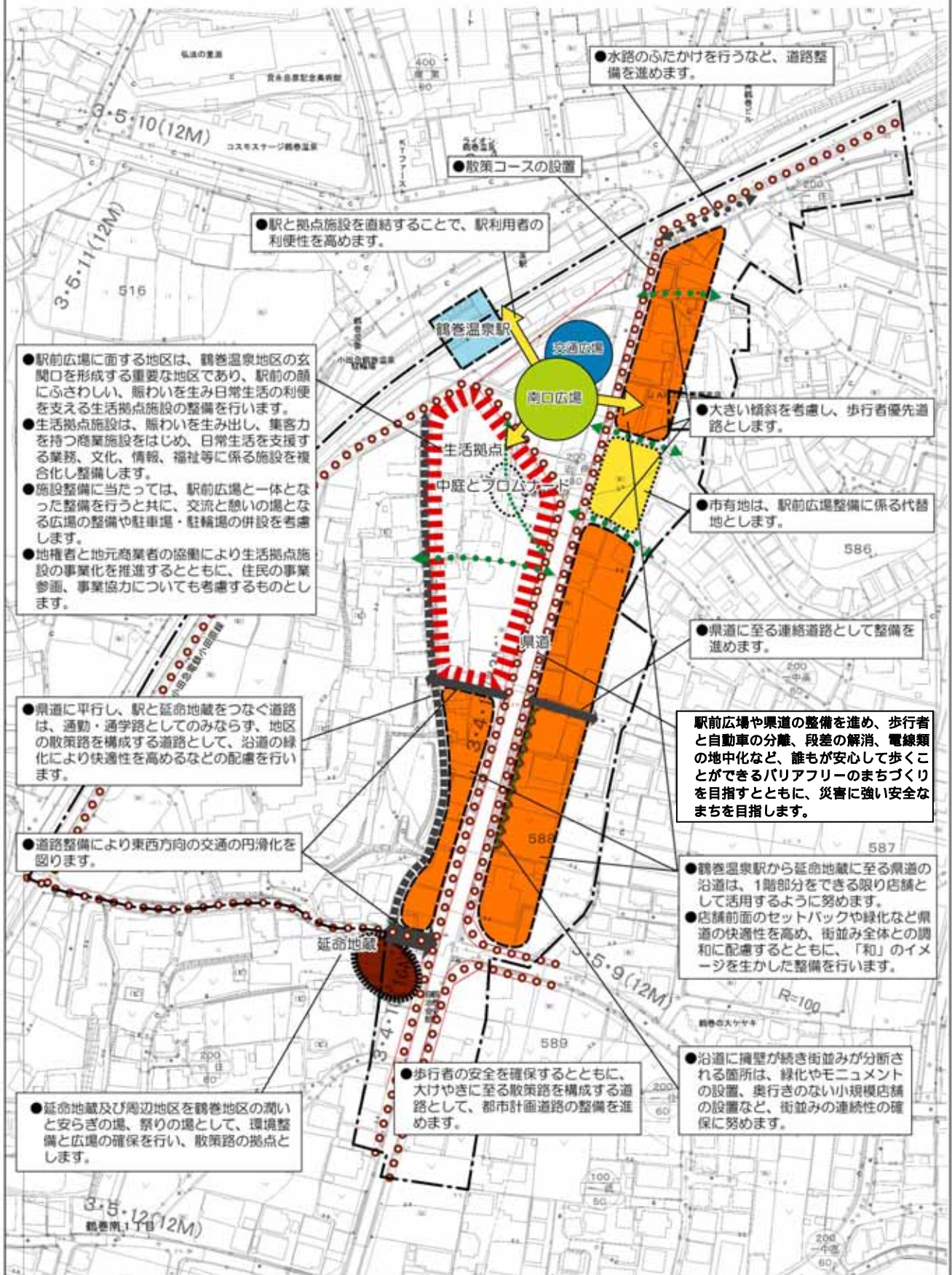


### B-5 沿道駐車場の出入り口の集約を行う。

県道から各敷地の駐車場の出入り口は、歩道を寸断し歩きづらさを生むことを避けるため、隣同士の駐車場出入り口を1箇所にまとめることや、店舗の場合、隣同士で共同駐車場を設置するなど、安全で快適な街並み形成への配慮に努めます。



# 鶴巻温泉駅南口周辺地区まちづくり基本構想図



## 4 . 今後のまちづくりの進め方について

「鶴巻温泉駅南口周辺地区まちづくり基本構想」は、「秦野市まちづくり条例」に基づく手続きにのっとり策定したもので、その内容は協議会が目標とするまちづくりのあり方をまとめたものです。

そして、この「鶴巻温泉駅南口周辺地区まちづくり基本構想」のうち市が主体となるものについては、市長が策定する「環境創出推進地区基本計画」に反映すべき事項として、市に提案するものです。

このため、「鶴巻温泉駅南口周辺地区まちづくり基本構想」を基に、市や県、さらには小田急電鉄との協議が行われ、特に駅前広場や橋上駅舎化の問題については、投資費用の問題が生じてくるため、市の税金の使い道として、市議会を含めて鶴巻温泉駅南口周辺地区のまちづくりにご賛同とご協力をいただくことをお願いするものです。

また、土地利用や街並みの実現など、地元が主体となるべき事項については、（地域まちづくり協定の締結や地区計画、建築協定など、まちづくりのルール化を検討について）重点的に取り組み、多くの市民に支えられた地元主体のまちづくりを推進していきたいと考えています。

## 5 . 参考資料

### 5 - 1 . 鶴巻温泉駅南口アンケート調査

平成13年9月6日～16日に鶴巻温泉駅南口まちづくり協議会が行ったアンケート調査の結果の概要を次に示します。アンケートの対象者は、鶴巻中部自治会、商店会及び地区外に住んでいる権利者となりました。

対 象：鶴巻中部自治会、商店会及び地区外に住んでいる権利者

実施日：平成13年9月6日～16日

配布数：613枚

回答数：261枚（回答率：42.6%）

#### 性別

男性	138人	52.9%
女性	95人	36.4%
不明	28人	10.7%
計	261人	100.0%

#### 年齢

20歳未満	0人	0.0%
20歳代	5人	1.9%
30歳代	26人	10.0%
40歳代	43人	16.5%
50歳代	74人	28.4%
60歳代	72人	27.6%
70歳代	32人	12.3%
80歳以上	4人	1.5%
不明	5人	1.9%
		0.0%
計	261人	100.0%

#### 職業

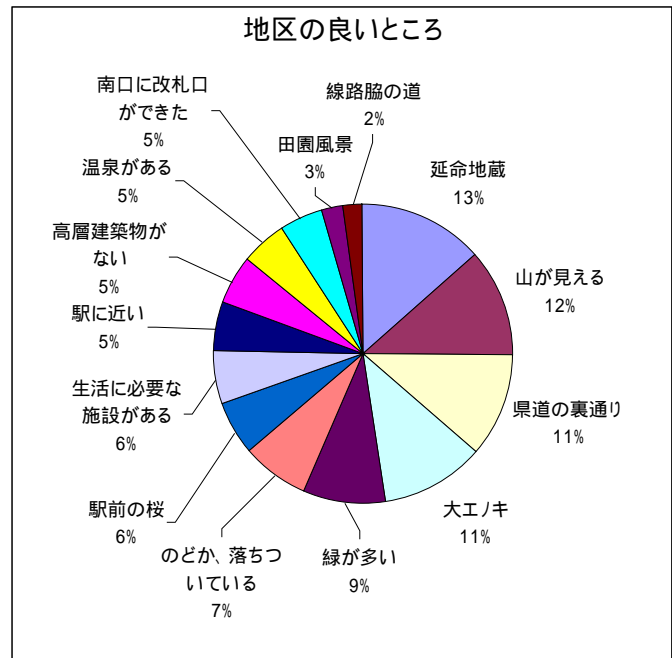
自営業	48人	18.4%
会社員、団体職員、公務員	71人	27.2%
会社、団体役員	8人	3.1%
学生	0人	0.0%
専業主婦	49人	18.8%
自由業	3人	1.1%
パート、アルバイト	16人	6.1%
無職	58人	22.2%
その他	4人	1.5%
不明	4人	1.5%
		0.0%
計	261人	100.0%



### 「地区の良いところ」

「地区の良いところ」としては、やはり歴史的ないわれのあるものや自然的な景観など、住んでいてほっとできる空間や景観に回答が集中しています。

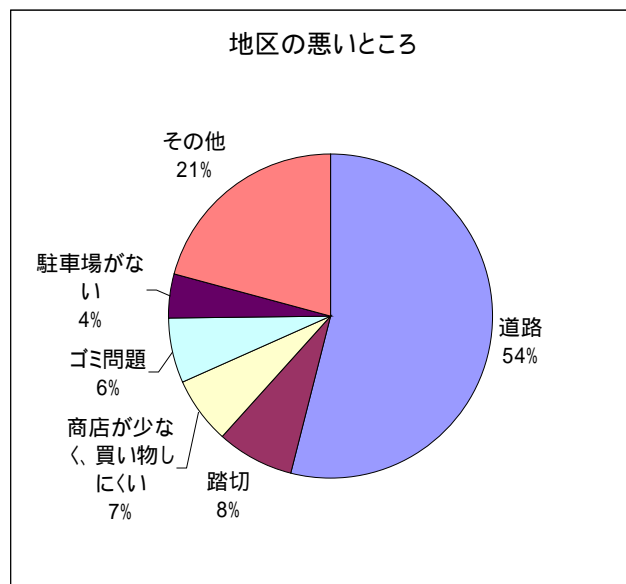
また、駅に近いことや、生活に必要な施設があるなど利便性の高さを良いところとして上げている人も約1割ほどいました。



### 「地区の悪いところ」

「地区の悪いところ」としては、地区のメインストリートである県道が狭いこと、歩道が設置されていないため歩行者にとって危険な道であることを上げている人が大部分を占めました。

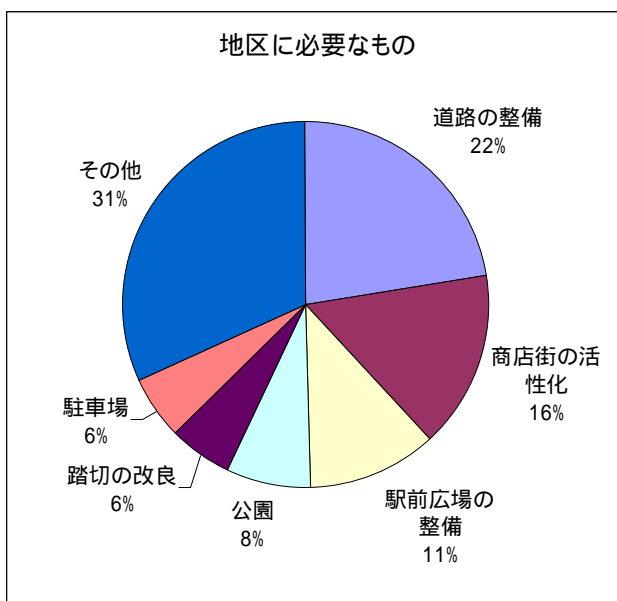
これに関連して、小田急線と交差する踏切部分の危険性や渋滞を上げている人も多く、交通問題が地区の大きな課題であることが分かります。



### 地区に必要なもの

地区に必要なものとしては、地区の悪いところとして挙げられた道路について整備を必要とする回答が最も多い結果となりました。

次に多かったのが、商店街の活性化であり駅前という立地特性を活かしたまちの活性化が求められていることが分かります。



### 協議会活動への関わり方

多くの方(160人)が「説明会を定期的で開催して欲しい」と回答しており、24名が「協議会活動に参加したい」と回答されました。その他には「南口トピックスにて情報の提供をして欲しい」(14名)、「アンケートなら協力できる」(2名)という意見がありました。

ぜひ参加したい	24人	10.2%
説明会を定期的で開催してほしい	160人	68.1%
その他	32人	13.6%
不明	19人	8.1%
計	235人	100.0%

まちづくりに「関心がある」「多少ある」と回答した235人について調査



## 5-2. 駅前賑わいの拠点に関する調査

平成14年10月から11月にかけて、鶴巻温泉駅南口から鶴巻会館前交差点までの間で、県道612号線と市道503号線にはさまれた区域の土地について、所有権を有する方等(27名)を対象としてにぎわいの拠点づくりに関する聞き取りによる意向調査を実施しました。

その意向調査の結果の概要を次に示します。

意向調査の実施数 : 27世帯

### 意向調査の結果

	設 問	回答内容	集計	比率(%)
1	賑わいの拠点(商業施設などの利便施設などが立地するまちの拠点)は必要でしょうか?	必要である	25	92.6
		必要ではない	1	3.7
		不明・未回答	1	3.7
		小 計	27	100

賑わいの拠点が必要であるとお答えになった方は93%にのびりました。

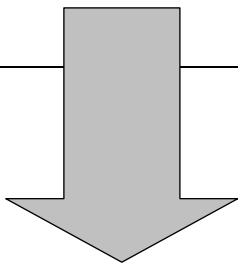
	設 問	回答内容	集計	比率(%)
2	賑わいの拠点の位置はどこがよいでしょうか?	駅前広場沿い	23	85.2
		駅前広場沿い以外	2	7.4
		不明・未回答	2	7.4
		小 計	27	100

多くの方が駅前広場沿いに拠点をつくるべきとお答えになりました。

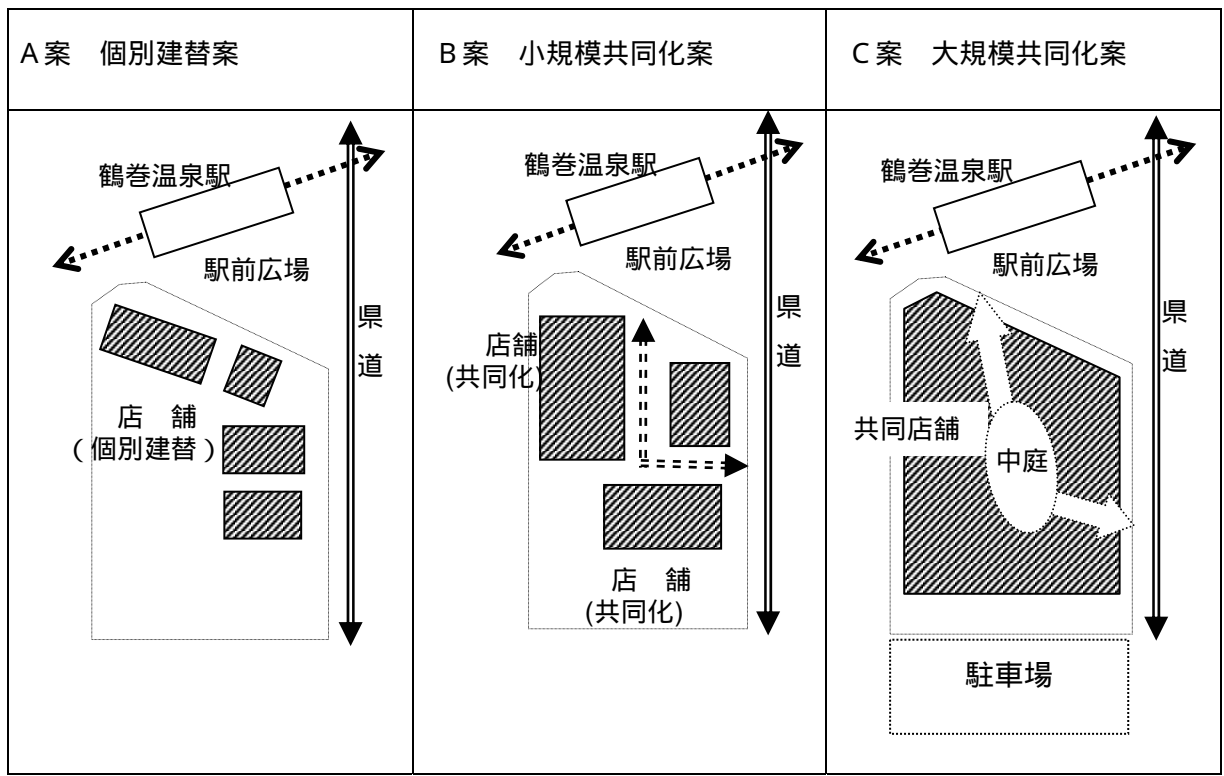
	設 問	回答内容	集計	比率(%)
3	賑わいの拠点は誰がつくったらよいでしょうか?	商業者	2	7.4
		地主	0	0
		商業者・地主共同	16	59.3
		その他	0	0
		不明・未回答	9	33.3
		小 計	27	100

商業者と地主とが共同で拠点をつくるべきとお答えになった方が多数いらっしゃいましたが、難しい問題であるため明確に回答できないという方もいらっしゃいました。

設 問	回答内容	集計	比率(%)
4 賑わいの拠点はどの程度の規模がよいでしょうか？ (下の図を参照)	A案 個別建替	3	11.1
	B案 小規模共同化	5	18.5
	C案 大規模共同化	15	55.6
	その他	1	3.7
	不明・未回答	3	11.1
	小 計	27	100



ある程度大きな拠点があつた方が、利便性が向上するとお考えになった方が多くいらっしゃいました。



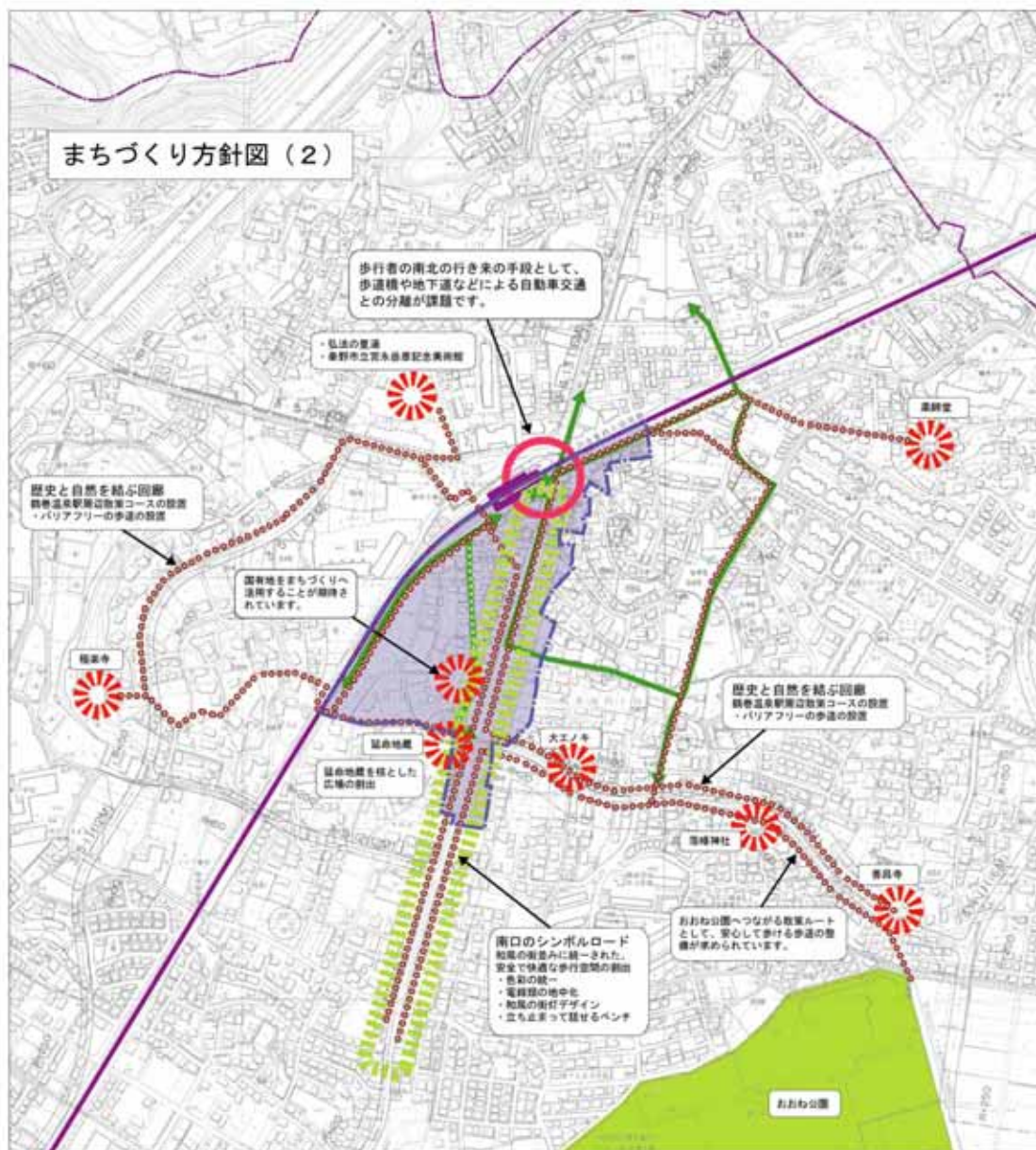
### 5 - 3 . 広域的な道路網

基本構想区域内の散策路を含めた道路を検討するにあたっては、周辺地域を含めた広域的な道路網を検討する必要があったことから、広域的な道路網（自動車の動線や歩行者の散策路）についての概要を示した図を次に示します。なお、この道路網の大部分は基本構想区域外であるため参考資料とします。

#### 交通動線について



## 散策路について



**鶴巻温泉駅南口まちづくり協議会**

事務局（今井 実）

〒257-0002 神奈川県秦野市鶴巻南一丁目1番1号  
電話 0463(77)1056